

令和4年度第1回浜松市森林・林業未来構想会議

次 第

日時：令和4年7月6日（水）午後1時30分～

場所：静岡県浜松総合庁舎9階901、902会議室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

（1）令和3年度森林環境譲与税活用事業の実績について

（2）令和4年度森林環境譲与税活用事業の計画について

（3）意見交換

- ・ 森林環境譲与税の活用方法について（評価・検証・提言等）
- ・ その他

4 報告、連絡事項

（1）次回について

5 閉会

令和4年度 浜松市森林・林業未来構想会議メンバー

令和4年7月6日

No	区分	所属	役職	氏名	出欠	備考
1	林業	自伐林家		鈴木 将之	○	天竜林業研究会会長、天竜こころの森ネットワーク参加者
2	林業	Kicoroの森	代表	前田 剛志	○	浜松市やらまいか戦略会議委員、天竜こころの森ネットワーク参加者
3	林業	浜松地域森林組合協議会	会長	和田 重明	○	天竜森林組合代表理事組合長
4	林業	浜松地域森林組合協議会	副会長	岡本 均	○	春野森林組合代表理事組合長
5	林業	静岡県森林組合連合会	天竜事業所長	浦田 卓秀	○ (代理)	天竜事業所長 (代理/環境税推進室 小木治)
6	木材	浜松地域材利用促進協議会(製材)		飯田 真也	○	丸山西木材産業㈱代表取締役
7	木材	浜松地域材利用促進協議会(流通)		高林 秀行	×	鹿島木材㈱代表取締役社長
8	木材	浜松地域材利用促進協議会(建築)		鈴木 宏昭	○	鈴木建設工房社長
9	木材	天竜材水平連携協議会	会長	石野 秀一	○	㈱フジイチ代表取締役社長
10	建設設計	浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会(建築)	会長	須山 宏造	○ (代理)	須山建設㈱代表取締役社長 (代理/常務 福長昌巳)
11	建設設計	浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会(設計)	副会長	中尾 有希子	○ (代理)	㈱渡辺建築設計事務所代表取締役社長 (代理/一級建築士事務所ヒロ建築計画 村松博之)
12	環境教育	TENKOMORI		鈴木 健太	○	浜松市出前講座協力団体
13	環境教育	MORI・IKU	代表	山田 真弓	○	天竜林業研究副会長、天竜こころの森ネットワーク参加者
14	環境教育	(有)キーウエストクリエイティブ	取締役	松下 克己	○	天竜こころの森ネットワーク事務局
15	有識者	静岡大学	准教授	小林 研治	○	
16	有識者	静岡文化芸術大学	教授	岩崎 敏之	○	
17	有識者	静岡理工科大学	准教授	石川 春乃	×	
	オブザーバー	天竜森林管理署	署長	松尾 清史	○	
	オブザーバー	静岡県西部農林事務所天竜農林局	局長	太田 治夫	○	
	事務局	浜松市産業部	農林水産担当部長	清水 克	○	
	事務局	浜松市産業部林業振興課	課長	小林 和重	○	

浜松市における森林環境譲与税の 令和3年度実績及び令和4年度計画

令和4年7月6日
浜松市産業部林業振興課

森林環境譲与税活用事業

【浜松市における森林環境譲与税活用事業】

No.	事業名	R1				R2				R3				R4		割合(%)
		当初予算額		決算額		当初予算額		決算額		当初予算額		決算額		当初予算額		
		予算額	うち充当額	決算額	うち充当額	予算額	うち充当額	決算額	うち充当額	予算額	うち充当額	決算額	うち充当額	予算額	うち充当額	
1	森林経営管理推進事業	46,616	46,616	14,278	14,278	31,320	31,320	26,666	26,666	36,219	36,219	30,954	30,954	48,799	48,799	15.2
2	林業従事者助成事業	8,750	8,750	7,414	7,414	8,750	8,750	7,871	7,871	※ No14で実施						
3	林道維持補修事業	152,455	0	152,918	24,878	201,284	94,419	164,182	94,419	129,254	38,259	100,581	28,367	242,063	0	0.0
4	低コスト林業推進事業	50,000	0	49,817	16,163	70,000	70,000	45,851	45,851	70,000	70,000	68,346	68,346	70,000	70,000	21.8
5	森林整備・林業振興事業(林業・木材産業成長産業化促進対策事業、浜松型林齢平準化促進事業)	168,134	22,129	127,181	16,036	136,619	12,476	131,761	12,476	113,057	14,463	147,556	37,728	122,059	39,204	12.2
6	森林活用等都市間連携事業	2,130	2,130	1,119	1,119	598	598	0	0	589	589	429	428	1,069	1,069	0.3
7	森林環境教育推進事業	2,000	2,000	1,960	1,960	1,000	1,000	990	990	1,000	1,000	990	990	1,000	1,000	0.3
8	FSC認証材利用拡大推進事業	8,022	6,788	8,000	7,513	14,169	13,107	3,642	2,579	3,290	2,607	2,619	2,533	7,233	6,550	2.0
9	地球温暖化対策事業(環境政策課)	100	100	100	100	100	100	100	100							
10	天竜材ぬくもり空間創出事業					5,000	5,000	15,417	15,417	25,000	25,000	22,844	22,844	25,000	25,000	7.8
11	浜松こども館管理運営事業(次世代育成課)					161,600	20,230	160,930	20,230							
12	天竜材の家百年住居の事業									55,330	52,000	69,705	65,335	82,330	79,000	24.6
13	市単独治山事業(山地災害予防対策事業)									32,100	27,000	9,710	5,580	28,000	23,000	7.2
14	天竜材人材育成・担い手確保事業									10,750	10,750	8,072	8,072	10,750	10,750	3.3
15	スマート林業推進事業									10,000	10,000	9,086	9,086	8,365	8,365	2.6
16	天竜材流通・販路拡大事業									1,000	1,000	694	694			
17	林業成長産業化推進事業													8,263	8,263	2.6
18	森林環境基金積立金(譲与税分)	31,887	31,887	31,887	31,887	0	0	31,267	31,267	0	0	0	0	0	0	0.0
合計		470,094	120,400	394,674	121,348	630,440	257,000	588,677	257,866	487,589	288,887	471,586	280,957	654,931	321,000	

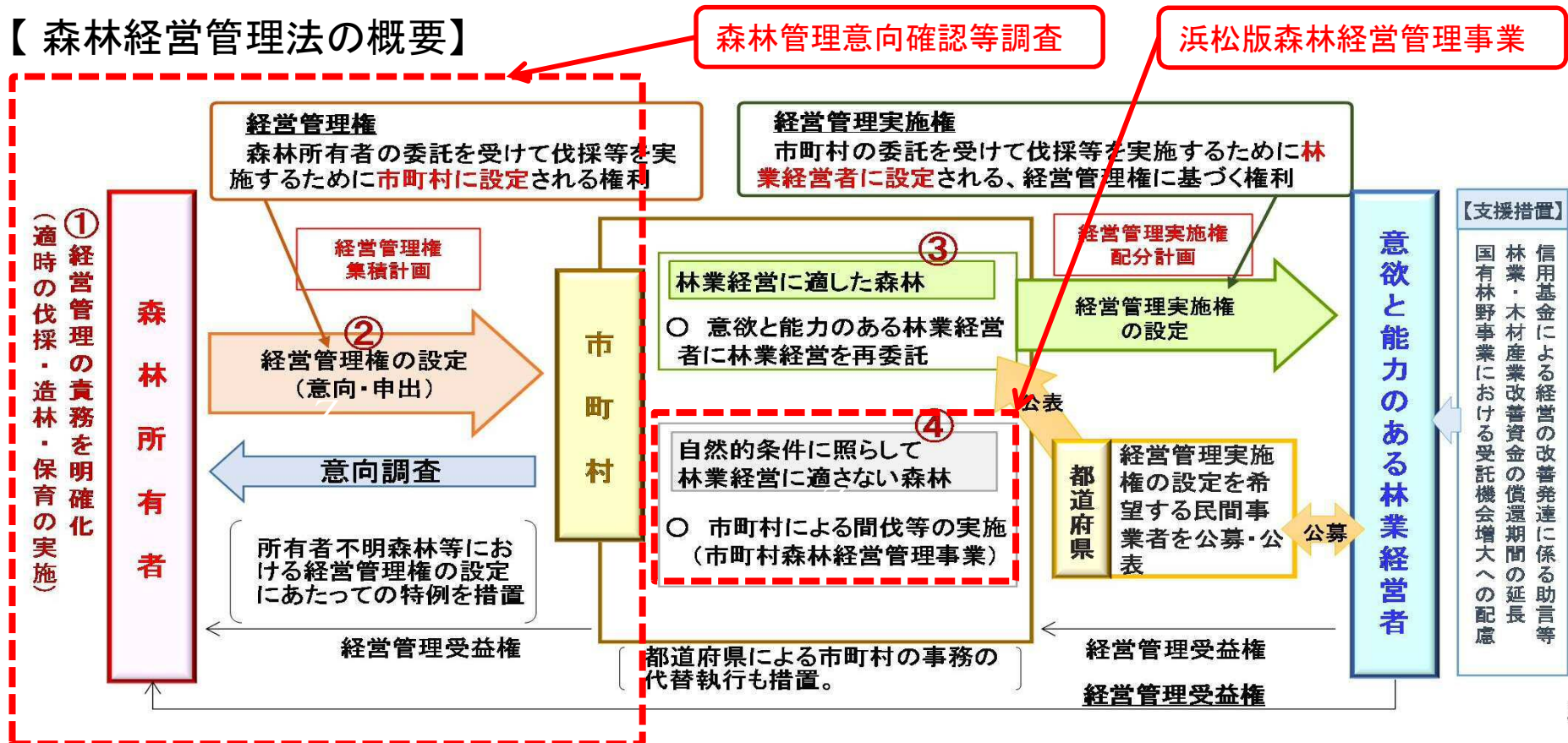
No	項目	R1		R2		R3		R4	
		当初予算額	決算額	当初予算額	決算額	当初予算額	決算額	当初予算額	決算額
1	森林環境譲与税	120,400	121,348	257,000	257,866	257,000	258,962		321,000
2	森林環境譲与税過年度積立金	0	0	0	0	31,887	21,995		0
3	合計	120,400	121,348	257,000	257,866	288,887	280,957		321,000

1 森林経営管理推進事業 (R3決算(見込): 30,954千円、R4予算: 48,799千円)



- 森林経営管理法に基づき、適切に管理されていない森林について、森林所有者の意向確認、経営管理権集積計画等の作成、同意の取得等を実施するとともに、意向に基づき市主導の環境伐を実施することで針広混交林化を推進
 - ・ 森林管理意向確認等調査／森林所有者への意向確認、計画作成、同意取得等を実施
 - ・ 浜松版森林経営管理事業／経営管理権集積計画に基づき、混交林化を目指した環境伐を実施

【森林経営管理法の概要】



1 森林経営管理推進事業(R3決算(見込):30,954千円、R4予算:48,799千円)



- 令和3年度の意向調査の実施結果は、森林所有者数:148人、面積:293ha
- これまでの調査地のうち、浜松版森林経営管理事業は3件、13haでこれを含め調査地のうち既に森林整備を実施した面積は309ha(国補助及び県森の力事業を活用)
- 令和4年度は、面積:約360haを調査予定

【これまでの森林管理意向確認等調査の実績】

年度	実績												備考
	森林所有者数【人】 (意向調査実施者)	調査対象面積【ha】 (簡易測量等実施地)	森林整備同意人数【人】	森林整備同意面積【ha】	(うち利用間伐同意人数【人】)	(うち利用間伐同意面積【ha】)	(うち保育間伐同意人数【人】)	(うち保育間伐同意面積【ha】)	(うち市町村森林経営管理事業実施人数【人】)	(うち市町村森林経営管理事業実施地【ha】)	森林整備同意回答待ち人数【人】	森林整備同意回答待ち面積【ha】	
R1	96	160.6	63	104.2	26	65.7	41	34.1	1	4.5	17	49.6	その他:7人、6.76ha
R2	160	271.6	142	250.5	120	190.6	27	47.6	2	11.4	10	14.0	
R3	148	293.8	73	168.3	49	107.7	24	60.7	0	0.0	42	76.2	
合計	404	726.1	278	523.1	195	364.0	92	142.3	3	15.9	69	139.8	

※ 利用間伐及び保育間伐の重複者あり

3 林道維持補修事業 (R3決算(見込):28,367千円、R4予算(繰越):9,892千円)



○ 被災した林道小松野線及び林道佐久間線の復旧事業を実施

- ・ 林道小松野線／設計・測量業務

- ・ 林道佐久間線／設計・測量業務、修繕補修工事(33.2m)

→ 佐久間線の修繕補修工事は、設計・測量に時間を要したため令和4年度に繰越



【 林道佐久間線の修繕補修工事の様子 】

4 低コスト林業推進事業 (R3決算(見込) : 68,346千円、R4予算 : 70,000千円)



○ 木材生産の低コスト化と生産力の向上を図るため、森林所有者がFSC認証林内で行う林内路網等の整備を支援

【R3実績】

- ・ 作業路開設 (幅員:3.0m以下) / 7件、3,457m
- ・ 作業道開設 (幅員:3.0m) / 16件、12,279m
- ・ 作業道修繕 / 25件、10,879m
- ・ 索道設置・撤去 / 4件、6,553m

〔 制度の概要 〕

補助対象 / 市内の認証森林

補助率 / 補助対象経費合計の4分の3以内
単価等 /

- ・ 森林作業道開設 : 7千円/m
- ・ 森林作業路開設 : 4千円/m
- ・ 森林作業道補修 : 上限1,000千円
- ・ 架線設置・撤去 : 延長100m以上



【 作業道開設 】



【 索道設置 】

5 森林整備・林業振興事業

(林業・木材産業成長産業化促進対策事業、浜松型林齢平準化促進事業)
(R3決算(見込):37,728千円、R4予算:39,204千円)



13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう

【 林業・木材産業成長産業化促進対策事業 】

○ 主伐時の集材と再造林の一貫作業関連活動を支援

- ・(R3実績)皆伐面積:11.64ha、材積:2,137 m^3
- ・(R2実績)皆伐面積:2.37ha、材積:1,142 m^3

【 浜松型林齢平準化促進事業 】

○ 主伐された木材の搬出費用を支援(2,000円/ m^3)

- ・(R3実績)皆伐面積:37.53ha、材積:19,065 m^3
- ・(R2実績)皆伐面積:14.33ha、材積:7,352 m^3



【 皆伐における木材搬出 】

6 森林活用等都市間連携事業 (R3決算(見込):428千円、R4予算:1,069千円)



- 首都圏の大都市等との連携推進により、森林・林業への理解を深めてもらい、天竜材の販路拡大に繋げることを目的に実施
 - ・ 11/13 「なかのエコフェア2021(中野区主催)」/テントブース来場者:300人
 - ・ 12/11 「川崎駅前 優しい木のひろば(川崎市主催)」/ワークショップ参加者:150人
- R4年度は大都市イベントでの出展に加え、川崎市からの受入事業も予定



【 なかのエコフェア2021 】

【 川崎駅前 優しい木のひろば 】

7 森林環境教育推進事業(R3決算(見込):990千円、R4予算:1,000千円)



- 森林や林業に対する理解を深めることを目的に、森林体験活動の受入団体「**天竜こころの森ネットワーク**」の運営活動等を支援
- R3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で受入活動は低調だったため、**団体活動を紹介するWebイベントを開催(現在も視聴可能)**
- 今年度に入りSGDsや脱炭素化への取組等の影響から、問合せが増加中



【 Webイベント「天竜美林を木こりと歩く、ような(3/19配信)」】

8 FSC認証材利用拡大推進事業(R3決算(見込):2,533千円、R4予算:6,550千円)



- 天竜材(FSC認証材)の地産外商の積極的な推進により、新たな利用価値を創出し、天竜材(FSC認証材)の利用拡大に繋げる
- 令和3年度は木製ノベルティの作製や天竜材PRラッピングバスを運行
- 令和4年度は「浜松ウッドコレクション」の開催に加え、「ジャパンホームショー」への浜松市ブースの出展を予定



【丸太がモチーフのラッピングバス
天竜材が東京2020大会関連施設で
使用されたことなどをPR】

浜松ウッドコレクション2022

- 概要／天竜材を使用した建築物や木製品、木製家具等のデザインコンペ
- 募集期間／7月11日～8月26日
- 応募部門／建築物部門及び木製品部門
- その他／9月に審査会、結果発表と表彰式は10月上旬を予定

ジャパンホームショー2022

- 概要／全国への天竜材の販路拡大やFSC認証のPRを目的に浜松市ブースを出展
- 期間／10月26日～28日(3日間)
- 場所／東京ビッグサイト
- 展示／浜松ウッドコレクションの受賞作品等

10 天竜材ぬくもり空間創出事業(R3決算(見込):22,844千円、R4予算:25,000千円)



○ 天竜材(FSC認証材)の利用拡大のため、**非住宅建築物における木造・木質化を支援し、天竜材の地産地消を推進**

- ・ 令和3年度実績:13件(新築・増改築・改修・改装:8件、木製家具の導入:5件)
- ・ 令和2年度実績:21件(新築・増改築・改修・改装:18件、木製家具の導入:3件)

〔 制度の概要 〕

補助対象 (具体例)	内装、外装材 (壁材、床材)	構造材 (柱、梁)	木製家具 (椅子、テーブル)
対象者	天竜材(FSC認証材)を使用して市内で非住宅建築物の木造・木質化を行う施主		
補助率	原則1/3 ただし、補助金申請の段階でFSC認証材のPRに効果的な啓発事業の提案があった場合は、予算の範囲内で1/2とする		1/2
上限額	20万円/m ³ 、上限額500万円		250万円
その他	・ 20m ² 又は5m ³ 以上使用 ・ 対象経費には、加工・運搬費を含む		対象経費には、組立・設置費等を含む



【 R3年度本事業活用店舗等 】

12 天竜材の家百年住居る事業(R3決算(見込):69,705千円、R4予算:79,000千円)



- **天竜材(FSC認証材)を使用した住宅の建築主を支援**し、天竜材の地産地消を推進することで、地域の森林資源の循環利用を実現
- **令和3年度から、大幅な改定(FSC認証材特化、上限拡充)を行い拡充事業として実施するとともに安定財源で長期的な実施を目指し、森林環境譲与税を活用**

〔市内住宅着工数と住宅助成事業の推移〕

(戸)

年度	住宅着工数	うち木造住宅	木造住宅割合	市住宅助成事業実績	うちFSC材使用実績
H23	5,371	3,741	70%	230	92
H24	5,720	3,783	66%	194	73
H25	6,614	4,630	70%	250	100
H26	5,383	3,437	64%	214	94
H27	5,195	3,504	67%	199	94
H28	5,573	3,782	68%	207	110
H29	5,593	3,606	64%	218	149
H30	5,332	3,665	69%	181	115
R1	5,262	3,693	70%	146	94
R2	4,942	3,180	64%	131	79
R3	4,682	3,356	72%	160	115
合計	59,667	30,148	—	2,130	1,115

- **11年間でFSC認証材が1,115棟の住宅に使用**
- **11年間で約8,400m³のFSC認証材が使用**(1棟:7.5m³と仮定)



【天竜材が使用された木造住宅】¹²

※ 「住宅着工数」と「うち木造住宅」は、住宅課調べ

13 山地災害予防対策事業 (R3決算(見込):5,580千円、R4予算:23,000千円)

13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう



- 森林所有者による森林管理が進ま
ず **荒廃状態にある森林について山地
災害予防等の観点から整備を促進**
- 森林の有する山地災害の防止等の
公益的機能の強化を図る

〔 制度の概要 〕

	① 面的森林整備 事業	② 小規模緊急森林 整備事業
対象 面積	0.6ha～1.0ha	0.1ha～0.5ha
補助 金額	1本620円または実 行経費の安価な方 ※ 0.1haあたり上 限／124,000円	0.1haあたり上限 124,000円または実 行経費の安価な方
補助 対象	<ul style="list-style-type: none"> (1) 危険木伐採 (2) 環境伐 (3) 倒木等処理 (4) 伐採木等流出防止処理 	



14 天竜材人材育成・担い手確保事業 (R3決算(見込):8,072千円、R4予算:10,750千円)



○ 林業従事者の安全装備、給料、健康診断等に対する助成に加え、**新規就業者の技術力向上や担い手確保・育成活動等に対する助成を新設**

【R3実績】

- ・ 林業従事者安全装備品等支援事業／助成林業従事者数:212人(防護ズボン、安全靴等)
- ・ 新規就業者支援事業／助成新規就業者数:25人(採用から3年未満の給料及び手当金を支援)
- ・ 新規就業者技術力向上事業／助成件数:4件①
- ・ 担い手確保・育成活動事業／助成件数:17件② (①+②の参加者(累計)／210人)

〔 天竜材人材育成・担い手確保事業の概要 〕

名称	補助対象者	補助対象事業	補助率及び上限額
新規就業者技術力向上事業	天竜材に関わる林業、木材製造業及び建設業の市内に主たる事務所等を有する事業者又は世帯を別にする3人以上の市内に住所を有する者で構成された団体 など	新規就業者が1名以上参加する技術力向上に関する研修会等の開催	1/2以内 (上限200千円／事業)
担い手確保・育成活動事業		担い手確保につながるインターンシップや現地見学の開催	1/2以内 (上限100千円／事業) (インターンシップ:上限50千円／人) (現地見学:上限20千円／人)



【 令和3年度に支援した各事業の様子 】

15 スマート林業推進事業 (R3決算(見込):9,086千円、R4予算:8,365千円)

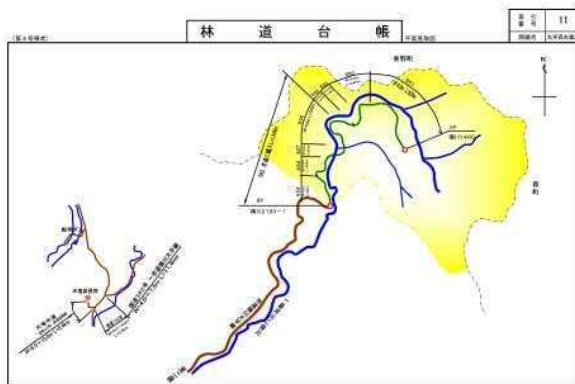


- **林道情報のデジタル化を進めることで災害の発生状況を早期に把握・対応するとともに、通行止め等の交通情報を住民に対し迅速に周知することにより、住民の安心・安全を図る**
- 県内で土木部局と同様の地図情報システムにより林道を管理している市町は存在せず、**マッピングや映像での林道管理は県内初の取組**

〔林道管理システム構築〕

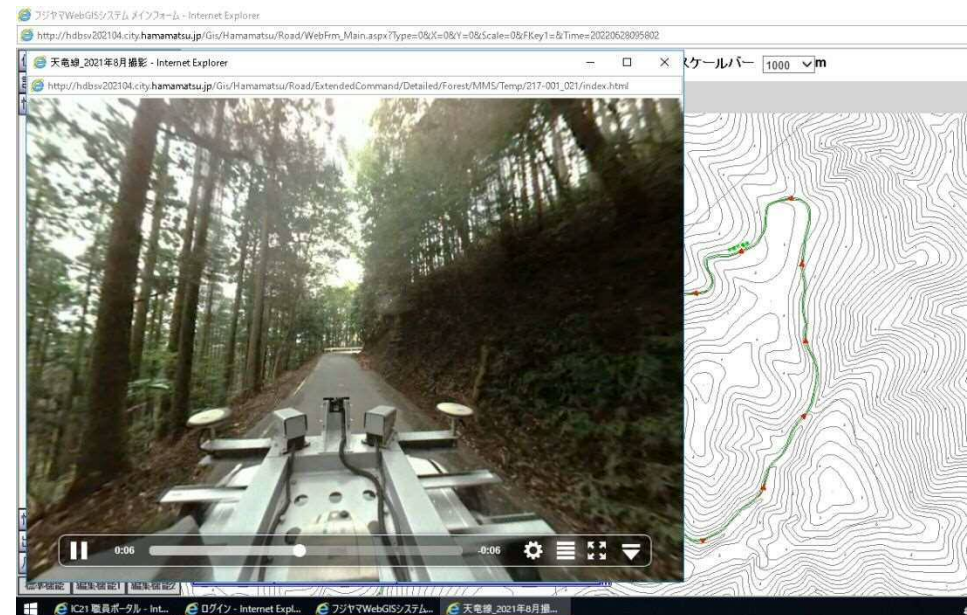
土木部システムとの連携で維持管理や災害発生時の状況確認など森林管理技術や木材生産能力が向上

林道台帳											
林道番号	林道名称	林道種別	林道長さ	林道幅員	林道幅員	林道幅員	林道幅員	林道幅員	林道幅員	林道幅員	林道幅員
111-101	林道	林道	1.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000
111-102	林道	林道	1.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000
111-103	林道	林道	1.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000
111-104	林道	林道	1.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000
111-105	林道	林道	1.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000
111-106	林道	林道	1.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000
111-107	林道	林道	1.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000
111-108	林道	林道	1.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000
111-109	林道	林道	1.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000
111-110	林道	林道	1.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000	4.000



〔マッピングGISデータ取得〕

カメラ角度を移動できる動画を全周囲画像(MMS)で撮影し登載



16 天竜材流通・販路拡大事業 (R3決算(見込):694千円)

11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



15 緑の豊かさも
守ろう



- **輸出による天竜材の販路拡大を目的に天竜材の海外輸出を支援**
 - 平成29年度からの実績は3カ国:1,999m³、**輸出経験や手法等が蓄積されたため、令和3年度で本事業は終了**
- 【事業実績/1,999m³】
- 29年度/計46m³(台湾/スギ)
 - 2年度/計634m³(台湾、ベトナム/スギ、ヒノキ)
 - 30年度/計417m³(台湾、ベトナム/スギ、ヒノキ)
 - 3年度/計527m³(台湾、ベトナム、中国/スギ、ヒノキ)
 - 元年度/計375m³(台湾、ベトナム/スギ、ヒノキ)



【台湾へ輸出した天竜スギ】

17 林業成長産業化推進事業 (R4予算:8,263千円)



- 浜松市は、国の「林業成長産業化地域創出モデル事業」のモデル地域に指定され、平成29年度から令和3年度の5年間、国から重点的に予算等の支援を受け林業の成長産業化を推進
- 事業期間終了後も **本市の林業・木材産業の成長産業化のため、天竜材の多様な分野への展開に向けた開発・生産・流通を目的とした事業を支援**

〔 事業の概要 〕

事業名	天竜材地産地消・地産外商推進事業	天竜材製品開発支援事業
補助条件	天竜材の生産量及び販路の拡大に繋がる事業	天竜材を使用し開発する製品がFSC認証製品であること
補助率	補助対象経費の2分の1以内	
補助対象事業	原木・製材の生産量及び販路の拡大に関する事業 品質・デザイン・機能性の向上に関する事業 等	製品開発に伴う設計・デザインや試作品の製作・試験 開発した製品及び天竜材を全国に流通させるための普及・啓発事業 等
補助対象経費	需用費、役務費、交通費、原材料費、製作・試験費、謝金、技術者給、委託費、備品購入、使用料及び賃借料(領収書を徴収することができないものや飲食代は補助対象外等条件あり)	

- 東京2020大会関連施設である有明体操競技場、選手村ビレッジプラザに多くの天竜材(FSC森林認証材)が使用
- この取組を広く周知し、持続可能性や環境配慮の考え方をレガシー(遺産)として広く市民に浸透させることにより、天竜材の普及啓発、販路拡大を図る

「Used in Village Plaza」天竜材後利用事業

- 内容
 - ・ 選手村ビレッジプラザで使用された天竜材の後利用を目的にデザインコンペ実施し、優秀作品を製作
- 時期
 - ・ 令和3年7月23日から9月10日
- 応募実績
 - ・ 公共部門(ベンチ製作や内装材等):51点、ノベルティ部門:185点



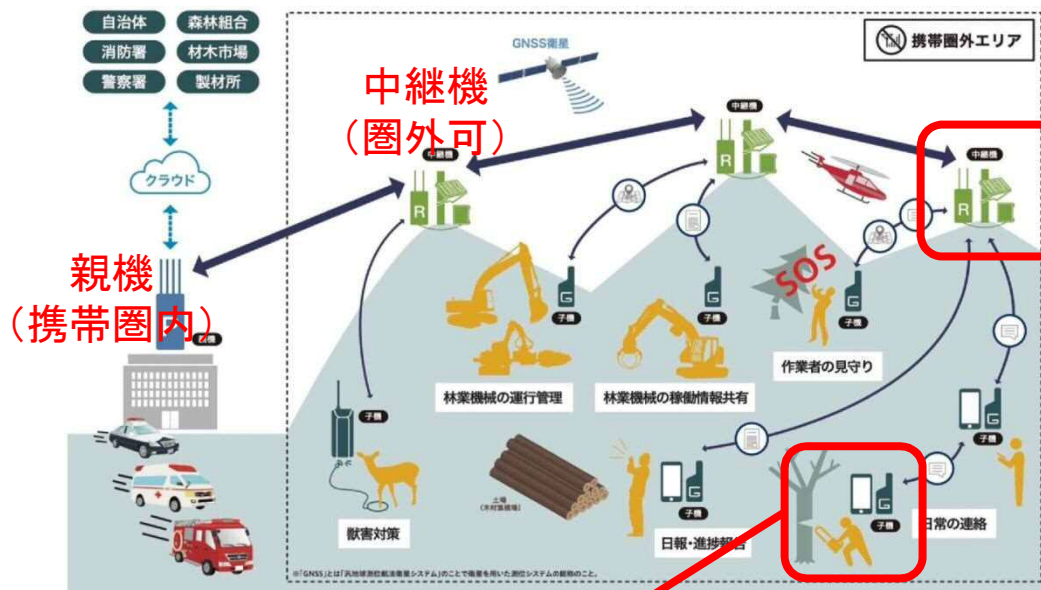
「天竜材フォーラム2021」の開催

- 日時 令和3年12月10日(金)
- 場所 アクトシティ浜松コンgresセンター
- 内容
 - ・ 田中理恵氏トークショー
 - ・ 講演(FSCとSDGsの関連性について)
 - ・ パネルディスカッション(市長 ほか)
 - ・ 天竜材後利用デザインコンペ最優秀賞の発表



○ モデル地域においてLPWAを活用した通信インフラを整備し、林業従事者にLPWAインフラを活用したサービスを利用してもらうことで、**林業従事者の安全確保と労働生産性の向上を図る**

※ LPWA(Low Power Wide Area):通信速度が遅く一度に送信できるデータ容量は小さいが、消費電力が少なく遠距離通信が可能な無線技術の総称。



中継機(ソーラーバッテリー)で稼働



子機⇒自前スマホと接続(圏外可)

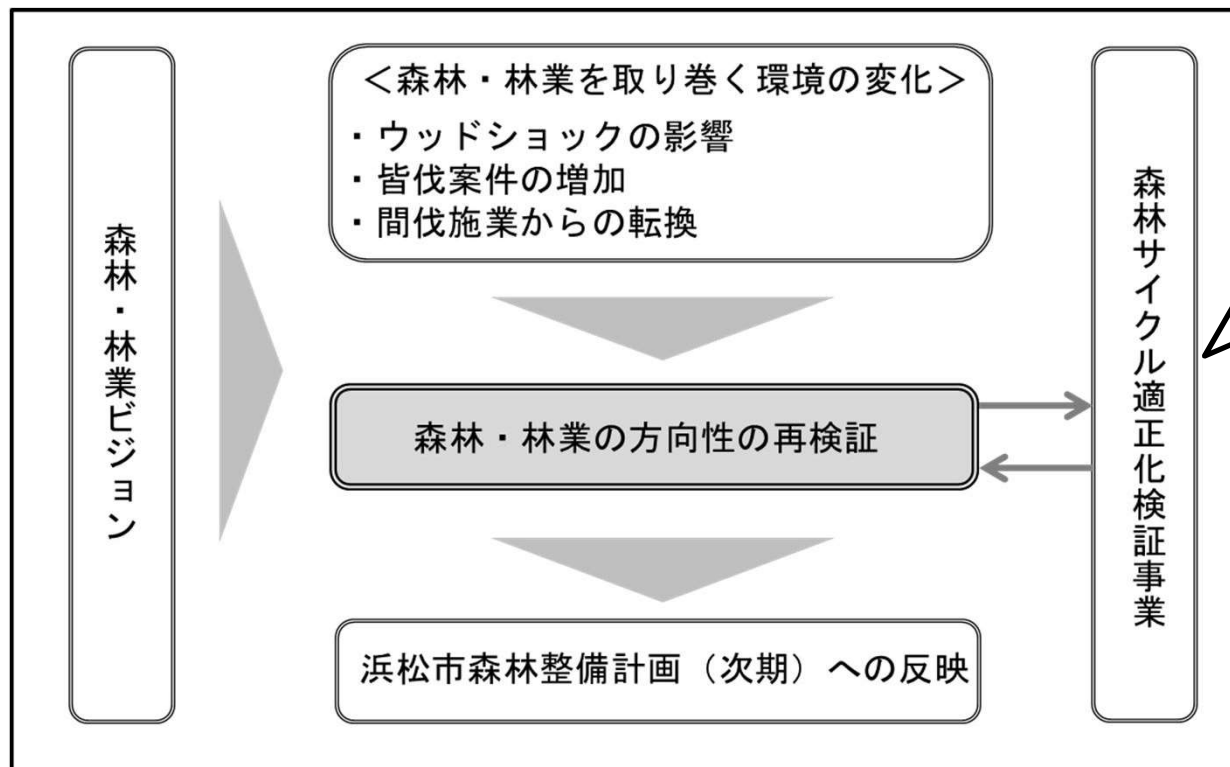
<労働環境の改善>

○作業員の安全対策(SOS発信、業務連絡、位置情報取得)

<労働生産性の向上>

○木材運搬情報の発信⇒木材市場へ
○林業機械の運行管理、日報、進捗報告

- 本地域の森林は、高年齢級の森林が多く林齢が平準化していないことが課題
- 柱材等の生産が困難になるだけでなく、高年齢級の森林は二酸化炭素の吸収量が少ないため、環境的側面からも林齢の若返りが必要
- 将来的な森林施業の方向性を検討するため、皆伐、再造林及び天然更新について調査を行い、今後の市内森林の適正管理を図る



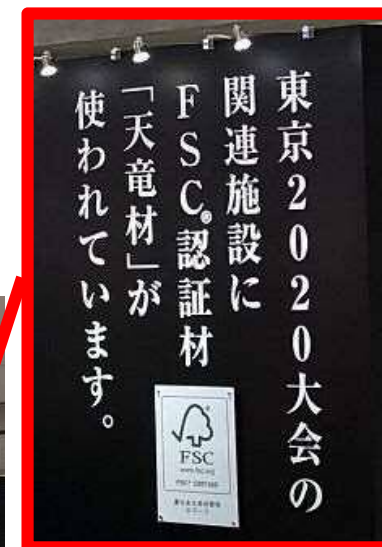
【実施内容】

- ・他自治体の森林整備計画、ビジョン等の調査
- ・林業・木材関係団体、自伐林家及び知識経験者等へのヒアリング
- ・天竜区内森林での現地事例調査等

- 全国への天竜材の販路拡大やFSC森林認証のPRを目的に「Japan Home & Building Show」に浜松市ブースを出展(2014(H26)年度から)
- 天竜材の認知度向上や新たな交流の創出、これまでに接点のあった大手ゼネコン・設計業等関係者との継続的・定期的な意見交換の機会となっている

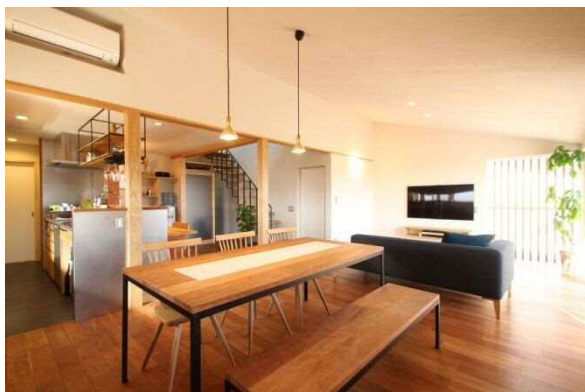
イベントの概要(2019(H31)年)

- 日時 令和元年11月13日(水)~15日(金)
- 場所 東京ビッグサイト(東京都江東区有明)
- 実績 ブース来訪者/約900人、名刺交換数/161枚



- 機能性やデザイン性などに優れた天竜材を使用した建築物(住宅、非住宅)や木製品、家具等を収集・表彰し、市内外に広く発信することを通じて、天竜材の利用拡大やブランド力の強化に繋げる
- 平成29、30年度に引き続き3回目の開催で、建築物部門(戸建住宅、一般建築物)及び木製品部門(木製家具、木製品)で開催(募集期間:7/11~8/26)

〔住宅部門最優秀賞／ひとつ屋根の家〕



〔一般建築部門最優秀賞／BELL TREE〕



御意見・御提案	市の方針・考え方	対応内容
<p>【石川春乃氏】 LPWAを活用した事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回、天竜森林管理署（松尾清史署長）から情報提供のあったLPWAを活用した事業の実施を提案（※ LPWAについては前回資料参考） ・ <u>瀬尻国有林において、天竜森林管理署がLPWAのGeoWana（旧オリワナシステム）を実施中</u>ということも好都合 ・ 林業従事者の安全のため、そして、<u>デジタル・スマートシティである浜松市として進めるべき</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森林の大部分は携帯圏外で林業のIoT化が極めて困難な状況 ○ この対応として <u>LPWAを活用した通信手段の構築が効果的</u>で林業従事者の安全・安心対策に活用できる ○ LPWAの活用による <u>木材生産メリットの検討も必要</u> ○ <u>事業期間の設定や今後の事業計画の整理が必要</u> ○ 今後の横展開のためにも他課（市民協働・地域政策課、天竜区）への事前連絡・協議が必要 	<p>⇒ その他（P20） デジタル田園都市交付金で実施 （新規）「スマート林業×LPWA」推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 瀬尻国有林の隣接地（民国連携推進地域 ※1）における <u>LPWA通信インフラ整備事業</u> ・ LPWAを活用した林業従事者の安全対策事業や獣害捕獲わなの遠隔確認事業の実施 <p>※1 天竜森林管理署と市、県、龍山森林組合、天竜フォレスター、石野秀一団地が協定を締結し、国有林と民有林が連携して森林整備を進めている地域</p>
<p>【石野秀一氏／別添資料1】 木材生産からエンドユーザーまでのサプライチェーン構築事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内林業事業体、製材、加工、設計、建築、エンドユーザー等が集うサロンをつくり、<u>チームで街に快適空間を創造するプロジェクトを提案</u> ・ 審査を実施し、優秀な提案に補助し整備したものを全国に情報発信（補助率100%、上限200万円） ・ <u>審査は木材生産量増加や未利用材活用等の視点を踏まえ補助提案を決定</u>（デザインが良いだけでは不可） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後の天竜材の流通拡大やウッドショック対応にも <u>天竜材のサプライチェーン構築は重要</u> ○ 新規でサロンを作る方法もあるが、<u>関係事業体が参画する「浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会」が存在</u> ○ <u>補助率100%は困難</u> ○ 非住宅建築物の木材利用への補助は「天竜材ぬくもり空間創出事業」で実施中 	<p>⇒ 実現ならず（R3開始事業のため数年後に事業レビューを行い改訂を検討） （拡充）天竜材ぬくもり空間創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現制度のインセンティブとしてサプライチェーン構築を追加（<u>サプライチェーンを構築した場合は補助率UP</u>） ・ 現制度の補助率は次のとおりで分かりにくいという意見あり <p>対象経費の1/3 補助金申請の段階で <u>FSC認証材のPRに効果的な啓発事業の提案</u>があり、天竜材ぬくもり空間創出事業審査委員会が認める場合は予算の範囲内で <u>対象経費の1/2（採択数は総申請数の2割程度）</u></p>
<p>【岩崎敏之氏／別添資料2】 てんてんプロジェクト／てんてんストラクチャー（間伐材利用の促進）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天竜材（間伐材）を主要構造材に有効活用した <u>延床面積10㎡以内の構造物を点々と各地に点在させていく</u> ・ <u>進め方は発生、増殖、展開の3段階</u>に従う <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>第1段階：発生</u>／モデルケースとなる設計・施工を行いプロトタイプ制作 ○ <u>第2段階：増殖</u>／アイデアコンペを実施するなどして、採択されたアイデアに材料費や設計・施工に伴う費用を支給 ○ <u>第3段階：展開</u>／各所に設置されたものをWEBサイトやパンフレットなどで広く紹介 ・ 材料費、設計・施工費を1棟50万円程度であるとすると、仮にアイデアコンペで5棟選考する場合は250万円 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在、「Used in Village Plaza」天竜材後利用事業（※2）を実施中 ○ <u>市街地等で市民が天竜材に触れ合うことのできる環境づくりは重要</u> ○ <u>委託事業での実施は、完成した構造物が市所有となり管理が困難</u>であり、<u>市有物件を私有地に設置することも本来ない</u> ○ 完成後、<u>すぐ譲渡することも説明が困難</u> ○ <u>補助事業での実施も補助率100%は困難</u>（既存の非住宅建築物への助成制度あり） 	<p>※ <u>継続して検討（予算要求は見送り）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模構造物（非住宅建築物）の建築については、天竜材ぬくもり空間創出事業で支援（補助事業） <p>※2 選手村ビレッジプラザで使用された天竜材のデザインコンペ実施及び最優秀賞等の製品化</p>

御意見・御提案	市の方針・考え方	対応内容
<p>【 岩崎敏之氏／別添資料 2 】 てんてんプロジェクト／てんてんチャンネル（木材利用の普及啓発）</p> <ul style="list-style-type: none"> 山、森、林、それらが街、川、海とも繋がっていることを情報提供する 10 分間の映像を数多く公開 映像公開には、浜松市内を拠点とするケーブルテレビ事業者に協力を依頼し、放送枠の契約をして映像を放映 YouTube にも放映映像のアーカイブを設けて、いつでも閲覧できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 市民に対する森林・林業の PR 活動は大切 現状、森林・林業の PR は、<u>天竜こころの森ネットワークの活動や出前講座、市 HP など</u>で PR 活動を実施中 森林・林業の PR は、市や既存団体が連携し、計画的・継続的な取組を行うことが必要 	<p>※ <u>継続して検討（予算要求は見送り）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 天竜こころの森ネットワークの活動等と連携しながら、森林・林業の PR 活動を検討
<p>【 山田真弓氏／別添資料 3 】 「天竜材人材育成・担い手確保事業」のさらなる充実（対象者の拡充）</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状、<u>補助対象者が新規就業者に限定</u>されているが<u>毎年新規雇用を行える大規模な事業体以外</u>は活用が困難 また、専門技術は常に更新されるため、現森林技術者の技術向上、デジタル化など新しい技術に対応ができない 上記を踏まえると<u>補助対象を「林業従事者（現森林技術者、山林所有者）、自伐林家（新規以外も対象）、林業就業希望者」</u>などに拡充されたい 	<ul style="list-style-type: none"> 「天竜材人材育成・担い手確保事業」は、昨年度の本会議での意見を参考に、人材育成に関する提案事業を支援する R3 新規事業 現制度の「<u>新規就業者技術力向上事業</u>」には次の条件があり、活用しにくいという声がある <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>補助対象事業／<u>新規就業者</u>（新たに天竜材に関わる林業、木材製造業及び建設業に従事者として従事する、<u>採用から 1 年未満の者</u>）が 1 名以上参加する技術力向上に関する研修会等の開催</p> </div>	<p>（拡充）天竜材人材育成・担い手確保事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 次のとおりの改訂を要求 旧) <u>新規就業者が 1 名以上参加</u>する技術力向上に関する研修会等の開催 新) <u>林業従事者等が 5 名以上参加</u>する技術力向上に関する研修会等の開催 <p>⇒実現ならず（R3 開始事業のため数年後に事業レビューを行い改訂を検討）</p>
<p>【 山田真弓氏／別添資料 3 】 「森林環境教育推進事業」のさらなる拡充（天竜こころの森ネットワークの PR 活動拡充）</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても<u>天竜こころの森ネットワークが成長、活躍できるような PR 活動の実施</u> ① 森林体験プログラムの動画を HP 掲載しプログラムの魅力を PR ② 林業施業動画や林業従事者のインタビュー、間伐前後の林内等、森林の魅力を感じられるコンテンツを増やす 等 	<ul style="list-style-type: none"> 「森林環境教育推進事業」は、R1 年度から開始した事業で、市民等の森林体験の推進のため、森林体験プログラムの実施者等が組織する「天竜こころの森ネットワーク」の運営事業 ただ、現状、<u>新型コロナウイルス感染症の影響で市民等の森林体験の要望は少ない</u> 上記を踏まえ、今年度は、<u>天竜こころの森ネットワークのプログラムを紹介するオンラインイベントを実施予定</u> 	<p>（継続）森林環境教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>要望のあった森林体験プログラムの動画等は、今年度実施予定のオンラインイベントで整備予定</u> コロナ禍での森林体験プログラムの受入体制の整備・強化や本活動の PR を引き続き実施 来年度の事業内容は、天竜こころの森ネットワーク事務局と協議中
<p>【 その他① 】 <u>出生祝い品として天竜材（FSC 認証材）木製玩具の贈呈</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度、次世代育成課と連携し、浜松こども館リニューアルにおける天竜材（FSC 認証材）使用を実施（公共の類似児童施設として日本で初めて FSC プロジェクト認証を取得） 次世代育成課から、<u>浜松こども館リニューアル事業をきっかけに、更なる木育事業の推進に関する相談あり</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 本取組は、<u>出生児への生涯木育に有効であり、且つ、住宅建築適齢期である親世代の PR にも有効</u> これまで連携していなかった<u>子育て支援団体や保育園、木工事業者等の異業種連携に繋がる</u> 	<p>⇒実現ならず（費用対効果や出生児だけに配布することへの不平等感等）</p> <p>（新規）木好き（きずき）の種まき育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> R4／天竜材木製玩具祝い品製作事業 → <u>デザイン考案のための事前会議開催</u> → <u>出生祝い品のデザイン及び試作品を製作</u> R5～／出生児への祝い品贈呈事業 → 木製玩具の贈呈（複数種類から選択）

御意見・御提案	市の方針・考え方	対応内容
<p>【 その他② 】</p> <p><u>森林整備や森林開発情報のアーカイブ化の必要性</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私有林の伐採や開発に係る届出は、年間約 150 件（天竜区内約 100 件、以外 50 件） ・ <u>近年、皆伐の届出が多く、森林の適正管理が危惧される事案も散見</u> ・ 伐採、開発及びその後の造林行為の実態を効果的に把握することは、適正な森林管理及び森林資源の賦存状況等を掌握する上で重要 	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>熱海市での盛り土案件を踏まえ、伐採又は小規模林地開発等に係る適切な業務実施が必要</u> ○ 伐採又は小規模林地開発に係る<u>届出情報及び現地調査結果をデジタル情報として保管し、そのデータを集約・蓄積（アーカイブ化）することが重要</u> ○ <u>現地と提出図面との整合性を確認するため、タブレット等の機器と専用ソフトが必要</u> ○ これにより、適正な森林施業の促進及び開発情報の把握に努め、山地災害等の防止に役立てる環境整備が必要 	<p><u>（新規）「スマート林業×森林整備・開発情報アーカイブ化」推進事業</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 届出情報及び画像等が入力可能かつ林班図に一元的に表示可能なアプリケーションの開発 ・ 上記を林道GISシステム（道路GISシステムとも連携）にて閲覧可能とし、情報の汎用性の高度化を図るとともに、過去の届出内容のデータベース化を実施 ・ 機動的かつ迅速に現地調査を行うためのタブレットの配置 <p>⇒実現ならず（R3開始のマッピングGISデータ取得を進める、県情報システムでクラウド化を計画中）</p>
<p>【 その他③ 】</p> <p><u>人工林での天然更新の是非について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従来の間伐作業により、残存した人工林が高齢級となり、近い将来、通常の施業への影響が危惧され、林齢の平準化（若返り化）が必要 ・ <u>木材価格の上昇により、安易な皆伐事案が増加傾向にあり、皆伐後に植林がなされないケースでは、将来的に山地災害につながるおそれがある</u> ・ 環境視点では、高齢級の人工林は環境貢献度が低い（CO2の吸収量が少ない）と言われており、幼齢木への適正な転換が求められつつある ・ <u>天竜区協議会において、高齢級人工林対策について意見</u>が出されている 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内森林において、人工林での皆伐後は必ず植栽が必要（天然更新不可） ○ <u>持続可能な林業経営やFSC森林認証の遵守のためにも、皆伐後の植栽は必須</u> ○ <u>ただ、拡大造林により林業不適地に人工林が存在</u> ○ <u>県内他市町では一定条件で天然更新を認めている</u> ○ <u>県内他市町では一定条件で天然更新を認めている</u>おり、県からも計画変更を進める声がある <p>浜松市森林整備計画書（抜粋） 市内一円のすべての人工造林に係る森林について、<u>皆伐後は必ず植栽を行うものとする。</u> ただし、天然更新に関する調査等を行う場合は、市の森林・林業担当課（林業振興課、天竜森林事務所）及び県西部農林事務所の林業普及指導員と相談の上、モデル的に実施する。</p>	<p><u>（新規）森林サイクル適正化検証事業</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適正な森林サイクルの調査・検証のため、法令及び森林整備に係る計画、各地の事例等を検証し、<u>今後の皆伐施業、天然更新等の位置付けを検討</u> <p>⇒その他（P21） 一般財源で実施</p>
<p>【 その他④ 】</p> <p><u>公共建築物等木造・木質化の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度「浜松市公共部門における地域材利用促進に関する基本方針」を改訂し、現在第4期方針（令和3～7年度）を推進中 ・ 令和4年度に工事が予定されている施設は、次のとおり → 天竜体育館、佐鳴台保育園、新津小学校放課後児童会、可美小学校、西部中学校、神久呂小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「浜松市公共部門における地域材利用促進に関する基本方針」に基づき、<u>森林環境譲与税を有効活用し、積極的に木造・木質化を推進するとともに、地域産のFSC認証材を活用</u>する。 ○ 引き続き、公共建築課及び施設担当課との連携を密にし、事業を進める。 	<p><u>（継続）公共建築物等への天竜材（FSC認証材）使用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>譲与税活用／天竜体育館、佐鳴台保育園、新津小学校放課後児童会</u> ・ その他／可美小学校、西部中学校、神久呂小学校